

袋井あやぐも学園 袋井中学校だより

— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成～

令和6年6月6日発行



幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

生徒自身が創り上げた彩雲祭

5月24日、穏やかな天候の中で、体育大会「彩雲祭」を実施することができました。この日のために、全校生徒に楽しんでもらえるよう、生徒が中心となって何回も話し合いを重ねたり、全校生徒へアンケートを実施したりして、競技種目の内容や当日の運営方法などを検討してきました。大会当日も一人一人の生徒が自分の役割をしっかりと務め、盛り上げることができました。学級では新しい仲間との競技や応援を通して、達成感や充実感を味わうことができ、これから学んでいく集団としての土台を築くことができました。また、今年度は多くの保護者に御来校、そして生徒たちの様子を見ていただくことができたと思います。参観につきましては、御理解と御協力をいただきありがとうございました。

【彩雲祭プロジェクト委員長の話】

彩雲祭が開催できることはあたりまえのことではない。

感謝の気持ちをもって、飛躍してほしい。

みんなの活躍、頑張り、笑顔を見られることを期待している。



人借り競争



「人借り競争」のお題は「ものまねができる人」「笑顔がすてきな人」などいろいろありました。すぐに見つけられるペアもいれば、なかなか見つけられず苦戦しているペアもありました。インタビューでは爆笑の渦でした。

新しいクラスで、新たな仲間とバトンをつなぎ、これからの学校生活がいいスタートを切れるきっかけになってほしいという願いで行われました。テイクオーバーゾーンをうまく工夫しながらバトンパスを行っていました。とても見応えがある真剣勝負でした。



全員リレー



King & Queen(しっぽとり)



誰が出場しても楽しめるようなレクにしたいという思いで考えられました。自分のしっぽを捕られないように守りに入る人、他のクラスの人やしっぽを果敢に取りに行く攻めの人と、クラスで作戦を工夫しながら楽しんで参加していました。

学級対抗選抜リレー



各学級の走り自慢の生徒が、男女4人ずつ選抜されました。午前中最後の競技とあって、応援も大変盛り上がりました。

障害物競争

各学年のカラーが出ていました。真剣勝負が見られたり、観客が楽しめるパフォーマンスが見られたりしました。生徒と担任と一緒に参加できることも見所の一つでした。



出合いのステージということもあり、新しい仲間との学級づくりが試される競技でした。練習から皆で協力して乗り越え、みんなで何かをする楽しさを味わうことができました。応援も含め、みんなの心が一つになった瞬間でした。

みんなでジャンプ



彩雲祭のために力を尽くしてくれた彩フロ委員、実行委員に感謝！

